

(写)

事務連絡  
令和4年12月9日

隠岐支庁各関係局長  
農林水産部各関係課長  
農林水産部各地方機関の長  
土木部各関係課長  
土木部各地方機関の長

} 様

土木部技術管理課  
土木設計基準グループリーダー  
農林設計基準グループリーダー

公共工事における大型土のうの適切な使用について（注意喚起）

このことについて、令和3年9月24日付け技第334号で通知し、適切に運用いただいておりますが、このたび「耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアルが、別添のとおり改訂される旨、情報提供がありましたので、下記に留意の上、より一層適切な運用に努めていただきますよう、よろしく願いいたします。

なお、各市町村には別途参考送付しています。

記

1. 主な留意点

新たな性能評価方法に対応した製品とその販売時期など

【問合せ先】

土木部 技術管理課

土木設計基準グループ 電話：0852-22-5941

農林設計基準グループ 電話：0852-22-5942

E-mail：sekisan-system@pref.shimane.lg.jp

2022年12月1日  
耐候性大型土のう協会

## 「耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアル改訂に関して

令和4年6月15日に耐候性大型土のう基準委員会より、『「耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアル』耐候性評価方法の変更にもなう留意事項（別紙 資料1）にて公示されましたように、マニュアルが改訂されます。

### ※留意事項（抜粋）

「本マニュアルでは、土のう袋の生地及び吊りベルトの耐候性の評価を、促進耐候性試験（JIS B 7753；サンシャインカーボンアーク灯式耐候性試験）で評価を行っていましたが、1年経過後の一部の吊りベルトに破断する事象が起きたことから、マニュアルにおける耐候性の性能評価の考え方について再検討を行い、マニュアルを改訂することといたします。」

下記にて改訂時期と改訂内容をお知らせします。

### 1. 「耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアル（以下、マニュアル）の改訂時期

- (1) 耐候性大型土のう基準検討委員会が令和5年1月に開催され、1月にマニュアルの性能評価方法が変更になる。
- (2) 改定された新評価方法、基準は（一財）土木研究センターのホームページで令和5年1月に公表される。

注）改訂版マニュアルが印刷物として発刊されるのは、令和5年4月。

### 2. マニュアル改訂に伴う製品の販売時期

#### (1) 改訂マニュアル（新基準）対応品

改定された性能評価基準に基づき合格した製品は、1月に「性能証明書」が発行される。性能証明書を取得した製品は、令和5年2月から販売可能となる。

#### (2) 従前マニュアル（旧基準）対応品

新しいマニュアルが（一財）土木研究センターのホームページで公表され、一定の期間が経過した時点で『「耐候性大型土のう性能証明<証明有効期間3年>」取得製品一覧』から削除される。

### 3. 耐候性大型土のうの要求性能の主な変更箇所

#### (1) 生地及び吊りベルトの耐候性評価

耐候性の評価はサンシャインカーボンアーク灯式耐候性試験から屋外暴露試験に変更し評価する。

【評価方法】屋外暴露3ヵ月、6ヵ月の引張強さから外挿により1年後、3年後の耐候性を評価

旧基準：試験条件⇒サンシャインカーボンアーク灯式耐候性試験

新基準：試験条件⇒屋外暴露試験

以上

令和4年6月15日

耐候性大型土のう基準検討委員会  
委員長

茨城大学 名誉教授 安原 一哉

『「耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアル』  
耐候性評価方法の変更にもなう留意事項

「耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアルは、平成24(2012)年3月に初版を発刊し、その後、改訂版を平成29(2017)年10月に発刊しております。

本マニュアルでは、土のう袋の生地及び吊りベルトの耐候性の評価を、促進耐候性試験(JIS B 7753 ; サンシャインカーボンアーク灯式耐候性試験)で1年を300時間として行っており、3年耐候の長期仮設については900時間の促進試験後の引張強度で評価を行ってまいりました。しかしながら、1年経過後の一部の吊りベルトに破断する事象が起きたことから、マニュアルにおける耐候性の性能評価の考え方について再検討を行い、マニュアル改訂することといたします。

マニュアルの改訂は、令和5年3月を予定しておりますが、それまでの期間は、下記に留意したうえ、耐候性大型土のうのご利用をお願いいたします。

記

1. 使用する際の留意事項

吊りベルトの引張強度の基準値には安全率を含むものの、吊り上げ、及び吊り下げの作業を片吊りで行うと破断するリスクもあるため、2本の吊りベルトで均等に荷重が作用するように留意すること。

2. 耐候性の性能評価と証明書の再発行

(1) 性能評価方法

土のうの生地、及び吊りベルトに関する耐候性の性能評価方法については、屋外曝露条件による3か月及び6か月のデータを確認の上、外挿により最大3年間の耐候性能を評価する。

(2) 再評価に基づく証明書の再発行

既往の全製品について上記(1)の性能評価方法を実施し、現行の基準値を満足する製品は改めて証明書を発行し、満足しない場合は証明書を破棄します。

以上